

義の冠としてのキリストの王国の褒賞を受ける

聖書：Ⅱテモテ 4:7-8, 18. 3:2-5. I コリント 9:25. ピリピ 3:9. 詩 45:13-14

- I. わたしたちはキリストをわたしたちの王国の褒賞として享受するために、主の出現を愛して（慕って）いなければなりません。主の出現とは、今日わたしたちに対する彼の出現また現れであり、また彼の再来の時に彼の民と共にある彼の臨在です。この事は、狭められた道にとどまり、命において目を覚まし、奉仕において忠信であり、キリストの花嫁として構成されることによってです——Ⅱテモテ 4:7-8. 使徒 26:16. ローマ 8:19. I テサロニケ 5:23. Ⅱテサロニケ 1:10. ヨハネ 14:21, 23. マタイ 7:13-14. 24:3, 45-51. 25:9, 13, 21:
- A. 主の出現を愛することと主ご自身を愛することは、分けることができません——I コリント 2:9. Ⅱテモテ 4:8. ヨハネ 14:21。
- B. Ⅱテモテ第3章2節から5節に提示されている、衰退したキリスト教の預言的な絵には、四種類の特定の愛する者が述べられています。それは、自己を愛する者、金銭を愛する者、快楽を愛する者、神を愛する者です。人がどのような種類の愛する者であっても、人の心全体、さらには全存在は、その人が愛するものの上に置かれ、またそれによって占領され、占有されます。これは極めて重要です！
- C. 召会の勝利における栄光の日がもたらされるか、召会の衰退の悲しむべき日々がもたらされるかは、完全に、わたしたちが何を愛する者であるかにかかっています。歴史は、召会の衰退の根源が主に対する初めの愛を失ったことにあると告げています——啓 2:4。
- D. わたしたちは召会の勝利の標準を維持するために、神を愛する者となって神のエコノミーを成就しなければなりません。主はご自身を愛する者たちに、命の冠を与えることと王国を相続することを約束しています——ヤコブ 1:12. 2:5。
- E. 朽ちない冠は、栄光と美の象徴であり、主の救いに加えて、クリスチャンのレースの勝者に賞として与えられます——I コリント 9:25. I ペテロ 5:4. イザヤ 28:5:
1. この賞は、義のものであり、働きを通してのものであって（マタイ 16:27. 啓 22:12. Ⅱコリント 5:10）、救いのように、恵みのものでも、信仰によるものでもありません（エペソ 2:8）。
 2. 義の冠が褒賞として与えられるのは、主の恵みにしたがってではなく、主の義にしたがってです。義の冠を褒賞として与える方は、義なる審判者としての主です——Ⅱテモテ 4:8。
- II. わたしたちは、次の時代に義の冠としてのキリストを褒賞として与えられるために、この時代に彼をわたしたちの主観的な生かし出された義として経験し、享受しなければなりません——ピリピ 3:9:
- A. キリストが信者たちにとって義であることには二つの面があります:
1. キリストはわたしたちの客観的な義であり、それはわたしたちが神へと悔い改め、キリストの中へと信じた時に、神の御前で義とされるためです——ローマ 3:24-26. 使徒 13:39. ガラテヤ 3:24 後半, 27。
 2. キリストはまたわたしたちの主観的な義であり、それはキリストを生かし出すこと、またキリストの真の表現であって、キリストを生きることによって神を表現している超越した状態です——ピリピ 3:9. 1:21 前半。
- B. 義のこれら二つの面は、詩篇第45篇13節から14節にある王妃の二つの衣によって予表されています:
1. 一つの衣は客観的な義に相当し、それはわたしたちの救いのためです——「彼女の衣は織った物であり、金が織り込まれています」——13節後半:
 - a. これが表徴するのは、多くの苦難を通してまた死と復活を通して対処されたキリスト

が、召会の義となって、神の義の要求を満たし、召会が神の御前に義とされるということですから——Ⅰコリント 1:30. ルカ 15:22. エレミヤ 23:6。

- b. 王妃が金で覆われていることは、召会が神聖な性質において現れることを表徴します——詩 45:9 後半. Ⅱペテロ 1:4。
2. もう一つの衣は主観的な義に相当し、それはわたしたちの勝利のためです——「彼女は刺繍された着物を着て王の所に導かれ……ます」——詩 45:14 前半. 参照, 啓 19:8. マタイ 22:11-12 :
- a. 勝利を得た信者たちはキリストの団体の王妃であり、キリストを彼らの王の住まいとし、キリストの中に見いだされ、キリストは彼らの主観的な義となります——詩 45:13 前半. ヨハネ 15:4 前半。
 - b. もう一つの衣であるこの刺繍された衣は、王妃の第二層のおおいです。この事が表徴するのは、召会が婚姻の時にキリストの所に導かれ、召会が聖徒たちが行なった義を着て、キリストの要求を満たし、彼らが結婚するということです——啓 19:8。
 - c. 刺繍された衣は、主観的なキリストであって、このキリストは、わたしたちの性格の中へと織り込まれ、わたしたちの存在の中へと刺繍し込まれて、わたしたちが生かし出す義となります。
 - d. この刺繍は、聖霊の造り変える働きを表徴します。聖霊は日ごとに働いて、キリストを一針一針わたしたちの中へと刺繍し込みつつあり、わたしたちの婚宴の礼服となります。
 - e. 回復された後に墮落した召会は、代価を払って、主観的な義としてのキリストを生き、神が良しとする行為としてのキリストを着せられる必要があります——3:18。

Ⅲ. 「主はわたしを……彼の天的王国へと救ってくださいます」——Ⅱテモテ 4:18 :

- A. 天的王国は、義の冠と等しく、「彼らの父の王国」(マタイ 13:43)、「わたしの父の王国」(26:29)、「キリストと神との王国」(エペソ 5:5)、「わたしたちの主また救い主イエス・キリストの永遠の王国」(Ⅱペテロ 1:11)であって、それは勝利を得た聖徒たちへの褒賞となります(啓 20:4)。
- B. 勝利を得た信者たちは、天的王国、すなわち天の王国の実現にあずかります——マタイ 7:21 :
 1. 勝利者は「義人」、王国の子たちであって、彼らの御父の王国で太陽のように輝きます——13:43。
 2. 天的王国で、勝利者は彼らの主と共に、新契約の杯を新しく飲みます——26:29。
 3. 勝利を得た信者たちは彼らの御父の王国で、旧約の勝利者たちと共に食卓に着きます——8:11。
 4. 勝利者にとって、天的王国は喜びをもって受け継ぐ嗣業となります——Ⅰコリント 6:9-10。
 5. 天的王国で、勝利者は永遠の命を受け継ぎ、こうして神聖な命のさらに満ち満ちた享受を持ちます——ルカ 18:29-30。
 6. 天的王国で、勝利者は主の喜びの中に入り、こうして彼らの魂を得て、彼らの魂を救い、彼らの魂の救いを享受します——マタイ 10:39. 16:25-26. 25:21, 23. ルカ 9:24. ヘブル 10:39. Ⅰペテロ 1:5, 9。
 7. 天的王国で、勝利を得た信者たちはキリストと共に王として支配し、諸国民を治めます——啓 20:4. 2:26-27。